ウェッジインソール治療を受けた患者さん用

研究課題名	高位脛骨骨きり術が内側半月板逸脱に及ぼす経時的影響
研究責任者名	広島大学大学医系科学研究科 整形外科学　教授　安達　伸生
研究期間	実施許可日　～　2027 年　3 月　31 日

対象者

本研究の文書による同意を行って参加された患者および 2016 年4月 1 日～2023 年 12 月 1 日の間に、広島大学病院の整形外科診療科で外側ウェッジインソールによる治療を受けられた患者さん。

意義・目的

半月板逸脱減少の効果については、外側ウェッジインソールにて軽減するということが明らかになっていますが、同じメカニズムでより強力な矯正作用がある、高位脛骨骨きり術における半月板逸脱量減少ついてはまだ解明されていません。今回、高位脛骨骨きり術における半月板逸脱減少の効果を外側ウェッジインソールによる治療と比較することで、より有効な半月板逸脱減少の治療を明らかにできる可能性があるため、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は基本情報（身長、体重、性別、年齢）、診療情報（超音波検査、痛みアンケート、および レントゲン画像結果です。利用本学における実施許可日（2019 年 4 月 22 日）以降に利用します。

（個人を特定可能な情報は解析に用いず、他の研究機関への提供はありません）

共同研究機関

広島大学単独で行い、研究分担者の石井陽介が解析します。

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科 整形外科学　教授　安達　伸生

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3　　Ｔｅｌ：082-257-5433

広島大学大学院医系科学研究科　助教　石井　陽介